

# JLEM News Letter Vol.20



## 第25回日本語教育方法研究会開催

発表 19 件 参加者 90 名  
第 26 回は国立国語研究所にて

2005年9月17日(土)、第25回日本語教育方法研究会が開催されました。お世話役を引き受けてくださった徳島大学留学生センターの大石寧子先生はじめ、皆さまに大変お世話になりました。

また、前日の9月16日夜、会場設営の後、運営委員会が開催されました。詳細はレターの記事をご覧ください。

なお、次回の研究会は、2006年3月16日(土)国立国語研究所において開かれます。みなさまふるってご参加くださいませ。

### 開催を終えて

大石 寧子  
(徳島大学)

2005年9月17日(土)、第25回日本語教育方法研究会(以下JLEMとする)が徳島大学の大学開放実践センターで開催されました。当初JLEMが四国で開催されるのがはじめてということ、徳島で日本語教育の大きい研究会が開催されるのも初めてと

いう初めて尽くしのうえに地の利の問題もあり、大きな不安がありました。当日は、口頭発表、ポスター発表合わせて、19件の発表が行われ、参加者が県内外から約90名ありました。

今徳島は、国際化に大学をはじめとし、県全体で取り組んでおり、日本語教育への関心も少しずつ高まってきています。しかし、日本語教育機関や学会・研究会等の開催の少なさなどから日本語教育の現状やレベルを把握できていないのも実情です。今回開催のお話を頂いた時、徳島の日本語教育への啓発やレベルアップの一助にという思いで、お引き受けした次第です。開催までに徳島大学内での日本語教育関連教員や学生、他大学、県内の主なボランティアグループ、語学学校をまわり、JLEMの趣旨説明をし、参加を呼びかけました。

当日は、県内外から約90名の参加があり、地元新聞の取材も加わり、口頭発表会場は椅子を詰め座って頂く状況となり、皆様にはご不自由をおかけして申し訳なく思っております。しかし、多

岐にわたった内容の発表と真摯な姿勢での参加がみられました。またポスター発表では、活発な議論や情報交換などが知識や年齢を超えて各ポスターの前で行われるいつものJLEMならではの光景が時間まで繰り広げられました。

今回、徳島から5組の口頭発表及びポスター発表の参加があり、中にボランティアグループの2つの発表がありました。日本語教育の経験の浅さは否めませんが、それぞれ精一杯発表したことで、「次回は是非私達も発表したい」という他のボランティアグループの声や「充実していた」とはじめての日本語教育シャワーを浴びて満足していた学生達など、徳島での開催の当初の目論見はかなり果たせたと思っております。徳島での開催は、大英断だったことと思いますが、このような機会をくださったJLEMに感謝いたします。また、大きな不安で開催を迎えた今回ですが、何とか無事、楽しく終了できましたのも当日参加してくださった皆様の協力なくしては、なしえなかったと感謝しております。ありがとうございました。

## 次回開催にあたって

小河原 義朗

(国立国語研究所)

研究所での開催は平成13年3月以来、2回目の開催となります。1回目は独立行政法人化前の暗い旧西が丘庁舎でしたが、本年2月東京の立川市に移転し、今回はピカピカの新庁舎 (<http://www.kokken.go.jp/kotsu/kotsuannai/index.html>) で皆様を迎えることとなりました。是非新しい国語研究所にいらしていただき、活発な議論が展開されることを期待しております。なお、現時点で周囲にはコンベニ一つない不毛地帯ですので、昼食のご用意を忘れずをお願い申し上げます。

## 運営委員会報告

第25回大会前日、9月16日午後7時より徳島市内で運営委員会を行いました。審議事項は、以下の通りです。

### (1) 次期会長選挙および

#### 運営委員会体制について

次期(2006年4月~2008年3月)会長選出について話し合いました。前ニューズレターで報告したとおり、今回から、運営委員会で会長を選出し、総会で承認を得ることになりました。次の大会(第26回大会、於国立国語研究

所)の総会にて会員の皆様にお諮りしたいと思います。

### (2) 次期開催地について

第26回大会を2006年3月18日(土)に国立国語研究所で行うことを決めました。大会実行委員は小河原義朗氏です。

(事務局 総田はるみ)

## 記念論集が

## 発売されています

2005年3月に発行された「十周年記念論集」が、凡人社を通じて販売されています。

### 【書籍情報】

『日本語教育方法研究会

十周年記念誌』

著者：日本語教育方法研究会

発行：日本語教育方法研究会

価格：2500円(税込)

B5版 296ページ

ISBN：4900626066

\*凡人社でも入手可能です。

<http://www.bonjinsha.com/>

(書籍検索ページから注文できます)

## 会費納入について

会費に関するお問い合わせ、会費の振込は以下の口座にお

願いたします。

会費を2年間未納の場合は自動的に除名となります。

\*ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。

名前を先にお書きください

会費は3000円です。

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者名：

日本語教育方法研究会

なお、会費納入状況についてなどご質問がありましたら、事務局までお問い合わせください。

連絡先：[jlem@ryu.titech.ac.jp](mailto:jlem@ryu.titech.ac.jp)

・日本語教育方法研究会事務局

東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学留学生センター

電話・FAX 03-5734-3522

e-mail: [jlem@ryu.titech.ac.jp](mailto:jlem@ryu.titech.ac.jp)

<http://jlem.info/>

または

<http://www.ryu.titech.ac.jp/~jlem/>

・ニューズレター発行事務局

札幌市北区北8条西8丁目

北海道大学留学生センター

小林由子研究室内

e-mail: [koba@isc.hokudai.ac.jp](mailto:koba@isc.hokudai.ac.jp)